

プログラム

10月1日(土) 第1日目

掲載順

開催日の会場ごと時間順にて掲載しております。

第1会場(研修室 904+905)

指定講演1

9:00-9:50

座長：長江 弘子(亀田医療大学 看護学部)

DL-1 日本版アドバンス・ケア・プランニングの定義と行動指針

○宮下 淳

福島県立医科大学 白河総合診療アカデミー

メインシンポジウム1

10:00-12:00

「日本的なACPのあり方・意思表示と選択の支援を考える」

座長：長江 弘子(亀田医療大学 看護学部)

金盛 琢也(浜松医科大学医学部 看護学科)

MS-1-1 我が国のACPの現状/日本老年医学会

○西川 満則

国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部

MS-1-2 欧米との比較からACP準備性尺度の開発と意思表示支援の重要性

○坂井 志麻

杏林大学保健学部 看護学科

MS-1-3 日本におけるACPの実装にむけた現状と課題

○片山 陽子

香川県立保健医療大学保健医療学部 看護学科

シンポジウム4

13:40-15:20

「最期まで口から食べるを支援する 認知症のComfort feedingの実践」

座長：梶井 文子(東京慈恵会医科大学医学部 看護学科)

島田 千穂(佐久大学 人間福祉学部)

S4-1 Comfort feedingのための健やかな口腔の維持 ～快適で美味しく楽しく安全に～

○枝広 あや子

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 認知症と精神保健研究室

S4-2 認知症を有する高齢者の摂食嚥下障害に対する看護実践

○千葉 由美

横浜市立大学大学院医学研究科 看護学専攻 先端成人看護学

S4-3 認知症を有した方の看取り段階での食事支援を行った2事例

～最後まで人生を楽しむための食事の工夫～

○西川 明美¹⁾、広岡 由枝¹⁾、内田 裕²⁾

¹⁾SOMPOケア株式会社 SOMPOケアラヴィーレ上福岡、²⁾SOMPOケア株式会社 埼玉千葉業務部

指定講演2

15:40-16:30

座長：島内 節（一般社団法人 日本在宅ケア教育研究センター）

DL-2 BPSDのプログラム

○内田 陽子

群馬大学大学院 保健学研究科

理事長講演

16:50-17:50

座長：内田 陽子（群馬大学大学院 保健学研究科）

CL-1 リレー講演その1「日本EOLケア学会の歩みとこれから」

○島内 節

元 一般社団法人 日本在宅ケア教育研究センター長／現在 同センター顧問

CL-2 リレー講演その2「日本エンドオブライフケア学会の設立10年目を見据えて目指すもの」

○長江 弘子

亀田医療大学大学院看護学研究科 エンドオブライフケア学

EOLに関わる専門職のための癒し企画1

18:20-19:20

座長：島田 千穂（佐久大学 人間福祉学部）

H-1 終末期に届けるハーブと祈り：音楽死生学についての講演と実践

○長谷川（間瀬） 恵美¹⁾、サック・キャロル²⁾

¹⁾桜美林大学 リベラルアーツ学群 准教授、²⁾音楽死生学士 (CORP)

シンポジウム1

9:00-10:40

認知症の緩和ケアに関する研究会 合同企画
「認知症の緩和ケアを推進するために」

座長：小川 朝生(国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野)
桑田 美代子(青梅慶友病院 看護部)

S1-1 認知症の緩和ケア ～我が国の現状と課題～

○平原 佐斗司
東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター

S1-2 地域における認知症緩和ケアの取り組み

○遠矢 純一郎
医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック

S1-3 認知症の人の苦痛に気づくために

○高井 ゆかり
群馬県立県民健康科学大学 看護学部

S1-4 エンドオブライフケアにおける認知症のパーソン・センタード・ケア

○鈴木 みずえ
浜松医科大学 臨床看護学講座

特別講演1

11:00-12:00

座長：秋山 正子(認定NPO法人 マギーズ東京 cancer support specialist (css))

SL-1 「その人らしく」とは何だろうか ～人権としての「死」を考える～

○柳田 邦男
ノンフィクション作家

学術集会会長講演

13:40-14:40

座長：荻野 美恵子(国際医療福祉大学市川病院 神経難病センター・医学部 脳神経内科)

PL 非がん疾患のEOLケア 現在・過去・未来

○平原 佐斗司
東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター

「人権としての緩和ケア 非がん疾患のEOLケアの確立と普及にむけて」

座長：平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター)

荻野 美恵子 (国際医療福祉大学市川病院 神経難病センター・医学部 脳神経内科)

MS-2-1 非がん疾患の緩和ケア EOLケアのニーズ、世界の動向などについて

○荻野 美恵子

国際医療福祉大学市川病院 神経難病センター・脳神経内科／

国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター・脳神経内科／

国際医療福祉大学大学院 公衆衛生学

MS-2-2 人生の最終段階における医療・ケアに関する厚生労働省の取組について

○鷺見 学

厚生労働省 医政局 地域医療計画課

MS-2-3 疾患を問わない緩和ケアの実践

○木澤 義之

筑波大学医学医療系 緩和医療学

MS-2-4 人権・健康・EOLCを考える ～バイオエシックスのアプローチ

○木村 利人

早稲田大学人間科学学術院・名誉教授 (バイオエシックス)／

ジョージタウン大学・ケネディ倫理研究所・特任研究員

「非がんの緩和について語ろう 何でも答えちゃいます」

平原 佐斗司

東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター

荻野 美恵子

国際医療福祉大学市川病院 神経難病センター・医学部 脳神経内科

「介護施設のエンドオブライフケアの質向上のために」

座長：島田 千穂(佐久大学 人間福祉学部)

池崎 澄江(千葉大学大学院看護学研究院 健康増進看護学講座)

S2-1 介護施設の看護職に求められること

○池崎 澄江

千葉大学大学院看護学研究院 健康増進看護学講座

S2-2 高齢者施設・住まいの入居者の回避可能な救急搬送へのアプローチ：看護職の視点から

○深堀 浩樹¹⁾、大河原 啓文²⁾

¹⁾慶應義塾大学 看護医療学部、²⁾慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

S2-3 施設における嘱託医の役割とは ～終の棲家での医師の存在意義～

○石川 崇広

千葉大学大学院医学研究院 総合医科学講座／千葉大学医学部附属病院 高齢者医療センター／東千葉メディカルセンター 代謝・内分泌内科

S2-4 海外の緩和・エンドオブライフケアプログラムの紹介

○飯田 貴映子

千葉大学大学院 看護学研究院

教育講演1

11:10-12:00

座長：深堀 浩樹(慶應義塾大学 看護医療学部)

OEL-1 超高齢者の緩和ケア

○桑田 美代子

医療法人社団慶成会 看護介護開発室長 兼 青梅慶友病院 看護部長

市民と協働する委員会企画

「「グリーン」をとらえ直す新しいコミュニティの創出をめざして」

座長：金子 稚子 (ライフ・ターミナル・ネットワーク)
高橋 在也 (千葉大学大学院医学研究院 医学教育学)

S3-1 死のリデザイン

○趙 愛玉
さだまらないオバケ

S3-2 ○猪狩 僚

igoku 創刊編集長 / いわき市保健福祉部 地域医療課 係長

S3-3 ○大橋 理宏

株式会社大橋石材店 代表取締役

市民公開講座1

市民公開シンポジウム「暮らしの中の看取り」

座長：秋山 正子 (認定NPO法人 マギーズ東京 cancer support specialist (css))

秋山 正子
認定NPO法人 マギーズ東京 cancer support specialist (css)

宇都宮 宏子
在宅ケア移行支援研究所

古屋 聡
山梨市立牧丘病院

共催：公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団

Meet the Expert 2

「いのちに寄り添う訪問看護の魅力を語ろう」

司会：岩本 ゆり (楽患ナース訪問看護ステーション)

秋山 正子
認定NPO法人 マギーズ東京 cancer support specialist (css)

平原 優美
日本訪問看護財団 常務理事

第4会場(会議室 9-A)

スモールワークショップ1

13:00-14:30

「非がん患者の意思決定支援を再考しよう！
ー継続看護マネジメントの事例の書き方を活用してー」

谷垣 静子
岡山大学

岡田 麻里
香川県立保健医療大学

長江 弘子
亀田医療大学

坂井志麻
杏林大学

片山 陽子
香川県立保健医療大学

照井 レナ
日本医療大学

酒井 昌子
聖霊クリストファー大学

川添 恵理子
北海道医療大学

乗越 千枝
四天王寺大学

彦 聖美
金城大学

仁科 祐子
鳥取大学

小池 愛弓
武蔵野徳洲会病院訪問看護ステーション

スモールワークショップ2

15:00-16:40

「障害をもつ方を地域で支援する」

中川 眞紀、仲川 郁子、堤 英子、開発 千晶、佐藤 眞紀子
社会福祉法人知恵の光会 フロムワン付属診療所

Meet the Expert 3

17:20-18:20

「病院の看護と地域連携について語ろう」

宇都宮 宏子
在宅ケア移行支援研究所

石原 ゆきゑ
昭和大学江東豊洲病院

伊藤 真理
川崎医療福祉大学

プログラム

10月2日回 第2日目

掲載順

開催日の会場ごと時間順にて掲載しております。

第1会場(研修室 904+905)

Meet the Expert 4

8:00-9:00

「ACPIについて語ろう」

長江 弘子
亀田医療大学 看護学部

西川 満則
国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部

片山 陽子
香川県立保健医療大学保健医療学部 看護学科

教育講演2

9:20-10:10

座長：谷垣 静子(岡山大学大学院 保健学研究科)

OEL-2 認知症高齢者のエンドオブライフケアにおける環境の支援と調整

○山田 律子
北海道医療大学 看護福祉学部(老年看護学)

特別講演2

10:30-11:20

座長：長江 弘子(亀田医療大学 看護学部)

SL-2 スピリチュアルケア

○田村 恵子
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座 緩和ケア看護学分野

教育講演3

11:40-12:30

座長：坂井 志麻(亀田医療大学 看護学部)

OEL-3 エンド・オブ・ライフ・ケアにおける研究 その難しさと対応

○宮下 光令
東北大学大学院医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野 教授

特別講演3

13:40-14:40

座長：高橋 在也 (千葉大学大学院医学研究院 医学教育学)

SL-3 進化生態医学とエンドオブライフケア

○長谷川 敏彦

一般社団法人 未来医療研究機構

指定講演5

15:00-15:50

座長：桑田 美代子 (青梅慶友病院 看護部)

DL-5 生き逝く力 ～看護に活かす進化生態医学～

○平原 優美

日本訪問看護財団 常務理事

市民公開講座2

16:10-17:10

座長：梶井 文子 (東京慈恵会医科大学医学部 看護学科)

OL-2 高齢者のこころ

○黒川 由紀子

黒川由紀子老年学研究所

第2会場 (研修室 906)

EOLに関わる専門職のための癒し企画2

8:00-9:00

座長：梶井 文子 (東京慈恵会医科大学医学部 看護学科)

H-2 援助職自らのケアとしてのマインドフルネス

○フォーク阿部 まり子
米国ミシガン大学 ミシガンメディシン

指定講演3

9:20-10:10

座長：平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター)

DL-3 地域緩和ケア

○蘆野 吉和
庄内保健所

メインシンポジウム3

10:20-12:00

日本在宅医療連合学会 合同企画

「地域包括ケア時代のEOLケアのあり方」

座長：蘆野 吉和 (山形県庄内保健所)
平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター)

MS-3-1 誰にとっても暮らしやすい地域を目指して ～市民、地医療介護職、行政に“固まり”として働きかける～

○川越 正平
あおぞら診療所／松戸市医師会

MS-3-2 住民・看護師への社会的処方としての通いの場

○吉江 悟
一般社団法人 Neighborhood Care／東京大学 高齢社会総合研究機構／
東京大学 未来ビジョン研究センター／慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室／
筑波大学 ヘルスサービス開発研究センター

MS-3-3 地域包括ケア時代のEOLケアのあり方

○金子 稚子
ライフ・ターミナル・ネットワーク

映画「うちげでいきたい」～映画をツールに対話を育む～

司会：岩城 典子 (NPO法人マギーズ東京)

登壇：孫 大輔

鳥取大学医学部 地域医療学講座／日野病院 総合診療科

島村 八重子

全国マイケアプラン・ネットワーク

指定講演4

13:40-14:30

座長：浅見 洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館)

DL-4 愛、暮らしの中の宗教 ～宗教とEOLケア～

○鍋島 直樹

龍谷大学 文学部 教授／龍谷大学大学院実践真宗学研究科 臨床宗教師研修 主任

シンポジウム7

14:40-16:30

「日本人の死生観と宗教・地域への応用」

座長：岡村 毅 (東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム)

足立 智孝 (亀田医療大学 看護学部)

S7-1 宗教と医学の協働に向けて

○岡村 毅

東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム

S7-2 日本人の死生観と宗教、地域への応用 宗教をEOLケアの中にどう取り入れていけるか

○佐々木 教道

正榮山 妙海寺／一般社団法人 寺子屋ブツダ

S7-3 看仏連携 ～地域包括ケアシステムにおける看護師と僧侶との連携と協働

○河野 秀一

株式会社サフィール・看仏連携研究会

S7-4 地域医療の中での宗教者の関わり

○楠 恭信

ばんだい地域包括ケアネットワーク／長照寺

指定発言 死生観と宗教 ―医療福祉機関における臨床宗教師

○鍋島 直樹

龍谷大学文学部 教授／龍谷大学大学院 実践真宗学研究科

第3会場(研修室 907)

一般演題 優秀演題候補1

8:00-8:50

座長：小野若菜子(聖路加国際大学大学院 看護学研究科)

BP1-1 非結核性抗酸菌症の在宅緩和ケア

○平原 佐斗司¹⁾、北川 隆太²⁾、坂上 美香²⁾

¹⁾東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター、²⁾東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所

BP1-2 認知症の肺炎急性期と看取り期の苦痛と緩和ケア ～単施設後ろ向き研究～

○平原 佐斗司

東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所/研究・研究センター

BP1-3 中小規模病院に勤務する看護師の終末期がん患者のAdvance Care Planningに対する認識・実践・困難感の実態

○細川 直美¹⁾、鶴岡 晃代²⁾、中村 康江³⁾、今 方美⁴⁾、伊藤 千鶴⁵⁾、松田 香織⁶⁾、
武内 和代⁷⁾、菅野 雄介⁸⁾

¹⁾国際医療福祉大学熱海病院、²⁾横浜市立大学附属市民総合医療センター、³⁾日本鋼管病院、
⁴⁾金沢文庫病院、⁵⁾ひと花訪問看護リハビリステーション、⁶⁾在宅療養支援ステーション楓の風、
⁷⁾横浜甞生病院、⁸⁾東京医科歯科大学 在宅ケア看護学分野

BP1-4 ACPファシリテーターが研修後に感じている思いと行動の変化

○河野 裕見子、櫻田 恵

公益社団法人地域医療振興協会 市立大村市民病院 看護部

BP1-5 働く世代のAdvance Care Planningの準備性と基本属性、ソーシャルサポートの関連

○岩崎 孝子¹⁾、長江 弘子²⁾、原沢 のぞみ³⁾、高 紋子⁴⁾、川原 美紀⁵⁾、山縣 千尋⁶⁾、
守屋 治代⁵⁾、池田 真理⁷⁾

¹⁾杏林大学保健学部 看護学科、²⁾亀田医療大学 看護学部、³⁾東邦大学 看護学部、
⁴⁾昭和大学保健医療学部 看護学科、⁵⁾前東京女子医科大学 看護学部、⁶⁾東京慈恵会医科大学医学部 看護学科、
⁷⁾東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野

一般演題 優秀演題候補2

8:55-9:45

座長：薬袋 淳子(岐阜医療科学大学・大学院 看護部看護学科)

BP2-1 人生の終焉における日本人の選好と特徴に関する横断的研究

○渡邊 和子¹⁾、壹岐 英正²⁾、原田 博子³⁾、平松 明憲²⁾、大城 京子⁴⁾、中村 了⁵⁾、西川 満則⁶⁾

¹⁾常滑市民病院 訪問看護ステーション、²⁾医療法人瑞心会 渡辺病院、³⁾常滑市民病院、
⁴⁾快護相談所 和び咲び、⁵⁾栄エンゼルクリニック、⁶⁾国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部

BP2-2 終末期在宅療養者の合意形成促進にむけた訪問看護師による介入判断尺度の信頼性・妥当性の検証

○久保井 まどか¹⁾、片山 陽子²⁾

¹⁾元香川県立保健医療大学 博士前期課程、²⁾香川県立保健医療大学

BP2-3 在宅要介護高齢者の価値観を汲みとるという訪問看護師の実践内容

○大内 奈美子¹⁾、片山 陽子²⁾

¹⁾一般社団法人 在宅療養ネットワーク、²⁾香川県立保健医療大学

BP2-4 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 療養者のエンドオブライフケアに焦点をあてた映像教育への取り組み

○武田 智美¹⁾、柗窪 優二²⁾、富士 恵美子³⁾、福田 由紀子¹⁾、岡本 優子¹⁾、又吉 忍¹⁾、
瀧田 咲枝¹⁾、杉浦 美佐子¹⁾

¹⁾椋山女学園大学 看護学部、²⁾椋山女学園大学文化情報学部 メディア情報学科、³⁾株式会社ななみ

BP2-5 BPSDに着目した在宅重度認知症高齢者の緩和ケア

○田島 玲子

グループホームあかつき 訪問看護ステーション

一般演題 優秀演題候補3

9:50-10:30

座長：川添 紀子 (日本医科大学付属病院 看護部)

**BP3-1 終末期肝疾患患者の症状緩和と療養の場の選択に関連する要因
がん患者と非がん患者の比較**

○赤司 雅子

武蔵野赤十字病院 緩和ケア内科

BP3-2 超高齢者のエンドオブライフ期における拘縮予防対策 -15年間の取り組みについて-

○須崎 圭祐、柳原 佳奈、山下 由香、桑田 美代子、吉際 俊明、
リハビリテーション室一同

医療法人社団慶成会 青梅慶友病院

**BP3-3 人生の終わりをどこで過ごしたいか
～老人保健施設入所者が最期のときを在宅で過ごす意義～**

○牧井 ゆかり¹⁾、戸井 球美子¹⁾、関谷 宏美²⁾、佐藤 吉沖²⁾

¹⁾医療法人銀門会 在宅支援センター 甲州ケア・ホーム 甲州訪問看護ステーション、

²⁾医療法人銀門会 在宅支援センター 甲州ケア・ホーム

BP3-4 外来における終末期患者とその家族に対する看護

○大内 千穂、梶田 悠子

医療法人 さとう記念病院

「腎不全の緩和ケアをどう進めるか ～CKMガイドの発表を受けて～」

座長：坂井 正弘 (東京ベイ・浦安市川医療センター 腎臓・内分泌・糖尿病内科)
杉浦 真 (愛知県厚生連 安城更生病院 脳神経内科)

S5-1 慢性腎臓病における緩和ケアをどうすすめるべきか

○三浦 靖彦
東京慈恵会医科大学附属柏病院 総合診療部

S5-2 腎不全末期の苦痛の緩和

○丹波 嘉一郎
自治医科大学附属病院 緩和ケア部

S5-3 末期腎不全の緩和ケアをどう進めるか ～CKMガイドの発表を受けて～
腎代替療法選択時の保存的腎臓療法にかかわる看護師の課題

○高井 奈美¹⁾、佐藤 一樹²⁾、丸山 彰一³⁾
¹⁾名古屋大学医学部附属病院 看護部、²⁾名古屋大学大学院医学系研究科 総合保健学専攻、
³⁾名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学

「本人の思いを紡ぐACP ～地域・在宅、病院、施設～」

座長：坂井 志麻 (杏林大学 保健学部)
伊藤 真理 (川崎医療福祉大学)

S6-1 介護老人保健施設における認知症高齢者へのACPの取り組み

○宮本 芳恵
一般社団法人 アルデバラン 代表理事

S6-2 病院の退院調整看護師の立場から

○藤井 淳子
東京女子医科大学病院 入退院支援室

S6-3 本人の思いを紡ぐACP ～地域・在宅・病院・施設～

○大城 京子
株式会社Old-Rookie 快護相談所 和び咲び

S6-4 地域で“暮らす”、そして“生ききる”に伴走する
～意思決定を支え、思いをつなぎ、紡いでいく～

○宇都宮 宏子
在宅ケア移行支援研究所

「COVID-19関係 COVID-19はEOLケアにどういった問題を投げかけたか？」

座長：高橋 在也 (千葉大学大学院医学研究院 医学教育学)

原沢 のぞみ (東邦大学看護学部 成人看護学研究室)

S8-1 新型コロナウイルス後の在宅医療の風景と今後の課題
－日常のささやかな「当たり前」を噛み締めるように－

○柳澤 優子

一般社団法人 Life&Com 在宅看護センター Life&Com

S8-2 急性期治療を受ける高齢者のエンドオブライフケアにおける面会制限の影響

○鳥海 幸恵

川崎市立川崎病院 看護部

S8-3 COVID-19重症患者の看取りの経験から EOLケアの進化と普遍を振り返る

○津田 泰伸

聖マリアンナ医科大学病院

S8-4 コロナ禍におけるエンドオブライフへの影響と「文化」の意味

○高橋 在也

千葉大学大学院医学研究院

第4会場(会議室 9-A)

スモールワークショップ3

8:20-9:20

「急性期病院の外来から始まるエンドオブライフケア」

藤井 淳子、山崎 千草、内田 邦子、石井 奈三
東京女子医科大学病院

スモールワークショップ4

10:00-11:00

「事例報告を書いてみよう」

伊東 美緒
群馬大学

伊藤 真理
川崎医療福祉大学

スモールワークショップ5

12:30-13:30

「オマハシステムの紹介とその活用可能性

日本版オマハシステムを用いた事例展開からEOLケアの「見える化」を考える」

酒井 昌子
一般社団法人オマハシステムジャパン/聖隷クリストファー大学

片山 陽子
一般社団法人オマハシステムジャパン/香川県立保健医療大学

岩本 大希
一般社団法人オマハシステムジャパン/ウィル訪問看護ステーション

藤野 泰平
一般社団法人オマハシステムジャパン/みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

吉江 悟
一般社団法人オマハシステムジャパン/ビュートゾルフ柏

長江 弘子
一般社団法人オマハシステムジャパン/亀田医療大学

プログラム

教育講演 (WEB)

市民公開講座 (WEB)



教育講演(WEB)

- WEL-1 非がん性呼吸器疾患の緩和ケア**
○平原 佐斗司
東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター
- WEL-2 苦痛としてとらえるBPSD**
○小川 朝生
国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科
- WEL-3 末期の肺炎の緩和ケア**
○平原 佐斗司
東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター
- WEL-4 老衰を診る**
○今永 光彦
奏診療所
- WEL-5 パーキンソン病の緩和ケア**
○荻野 裕
国立病院機構 箱根病院
- WEL-6 終末期の呼吸困難に対する緩和的リハビリテーション**
○中田 隆文
マリオス小林内科クリニック リハビリテーション科
- WEL-7 認知症の人の苦痛の評価について**
○高井 ゆかり
群馬県立県民健康科学大学 看護学部
- WEL-8 ALSの緩和ケア**
○荻野 美恵子
国際医療福祉大学市川病院 神経難病センター・医学部 脳神経内科
- WEL-9 気道クリアランスの基礎と臨床 ～痰・分泌物への看護～**
○山北 利恵
日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院
- WEL-10 ACPの基本のき**
○西川 満則
国立長寿医療研究センター 緩和ケア診療部
- WEL-11 脳卒中の緩和ケア**
○桑原 直行
国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部 医療マネジメント学科
- WEL-12 悪液質を理解する**
○若林 秀隆
東京女子医科大学 リハビリテーション科学講座

教育講演(WEB/第6回非がん疾患のエンドオブライフケアセミナー)

WEL-13 人生最期の食を支援する EOLケアにおける栄養ケア・マネジメントと食支援

○梶井 文子

東京慈恵会医科大学医学部 看護学科老年看護学

WEL-14 日本型ACPIについて

○長江 弘子

亀田医療大学大学院看護学研究科 エンドオブライフケア学

WEL-15 非がん疾患の呼吸困難の緩和ケア ～疾患横断的に考える～

○平原 佐斗司

東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター

WEL-16 エンドオブライフケアの臨床倫理

○荻野 美恵子

国際医療福祉大学市川病院 神経難病センター・医学部 脳神経内科

市民公開講座(WEB)

座長：大島 真理子 (老テク研究会)

WOL 現代日本の死生観と人生会議 –私の死、あなたの死、そしてヒトの死–

○浅見 洋

石川県西田幾多郎記念哲学館

プログラム

一般演題



口演(基本概念)

- O-1 一般病院の看護師のアドバンス・ケア・プランニング支援行動と影響要因**
○橋本 容子¹⁾、長谷川 智子²⁾
¹⁾東京医科大学医学部 看護学科 成人看護学講座、
²⁾福井大学学術研究院医学系部門 看護学領域 基盤看護学分野
- O-2 透析患者に対する看護師のアドバンス・ケア・プランニング支援行動と影響要因の明確化**
○橋本 容子¹⁾、長谷川 智子²⁾、牧野 富美枝³⁾、梅田 尚子⁴⁾
¹⁾東京医科大学医学部 看護学科 成人看護学講座、
²⁾福井大学学術研究院医学系部門 看護学領域 基盤看護学分野、
³⁾独立行政法人地域医療機能推進機構 福井勝山総合病院、
⁴⁾福井医療大学保健医療学部 看護学科 老年看護学
- O-3 透析患者のACPについての看護師の思い**
○東 康子¹⁾、彦 聖美²⁾
¹⁾医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院 看護局、²⁾金城大学看護学部 看護学科
- O-4 身寄りがない患者の倫理的・組織的な取り組みについて**
○藤井 真樹¹⁾、小室 香¹⁾、内野 賢治²⁾、西田 皓平³⁾
¹⁾学校法人聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 看護部、
²⁾学校法人聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 神経内科、
³⁾学校法人聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 呼吸器内科
- O-5 へき地医療拠点病院における地域包括ケアシステムの実践報告
IDリンクを活用した訪問診療で想いを繋ぎ支える**
○松田 文、宮元 すま子、西谷 久美子、大瀧 洋子
公立つるぎ病院 看護部
- O-6 島で最期を迎えたいと願う患者家族の意向を尊重し、地域医療に繋げた一例**
○伊敷 桃子、高山 真理子、比嘉 允、島袋 百代、川西 園子
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 看護部
- O-7 領域横断的概念としてのACP**
○高橋 在也
千葉大学大学院医学研究院 医学教育学

口演(病態別ケア)

- O-8 認知症高齢者の家族が望む病棟看護師によるエンドオブライフケア**
○白木 沙知¹⁾、小川 妙子²⁾、市川 光代¹⁾
¹⁾三育学院大学 看護学部 (老年看護学領域)、²⁾三育学院大学大学院 看護学研究科 (高齢者看護学)
- O-9 訪問診療における認知症高齢者の肺炎に対する抗菌薬差し控えに関する研究**
○北川 隆太、平原 佐斗司
東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所

口演(対象別ケア)

O-10 嚥下機能を指標として高齢患者の終末期の急変を検討

○庭野 元孝

医療法人五星会 菊名記念病院 総合診療科 顧問

O-11 認知症高齢者が入院前の生活場所に退院できなかった要因と課題

○内藺 麻紀¹⁾、山中 之子²⁾、田中 秀美²⁾、甲田 涼子¹⁾、竹之内 美栄¹⁾

¹⁾ 地方行政独立法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター 看護部、

²⁾ 地方行政独立法人奈良県立病院機構 奈良県西和医療センター 患者支援センター

口演(家族ケア)

O-12 訪問看護師が印象に残ったグリーフケアについての思い

○渡邊 朱美¹⁾、富田 早苗²⁾

¹⁾ 香川県立保健医療大学保健医療学部 看護学科、²⁾ 川崎医療福祉大学保健看護学部 保健看護学科

O-13 手紙で繋がるグリーフケア

○鈴木 忠広、北岡 吉民、千嶋 巖、天谷 静雄、諏訪 陽子、早川 愛子、入澤 沙綾、伊藤 陽子、鈴木 美代、大森 香

生協ふたば診療所

O-14 終末期患者の家族看護

～急激に状態が変化した患者の家族に対する家族ケアの介入の一事例～

○田中 知世、高橋 あい

川崎市立多摩病院 看護部 (指定管理者 聖マリアンナ医科大学)

口演(諸相・場と移行期のケア)

O-15 介護老人保健施設における終末期の口腔衛生管理および食支援の取り組み

○佐川 敬一郎^{1,2)}、菊池 要子^{3,4)}、富田 さやか^{3,4)}、駒橋 武²⁾、新島 祥²⁾、波木 道夫^{3,4)}

¹⁾ 佐川歯科医院、²⁾ 一般社団法人 鹿沼歯科医師会、³⁾ 医療法人桃李会 介護老人保健施設ほほえみ、

⁴⁾ 医療法人桃李会 御殿山病院

O-16 終末期がん患者の在宅看取りを支えた家族への関わり

○舟田 眞美¹⁾、曾根 志穂²⁾、彦 聖美³⁾

¹⁾ 町立宝達志水病院 地域医療連携室 保健師、²⁾ 金城大学看護学部 講師、³⁾ 金城大学看護学部 教授

O-17 地域在住の高齢者から見た看取り及び看取りに関する話し合いの現状と課題

○岩淵 起江

東京医療保健大学立川看護学部 成人・老年看護学領域

口演(専門職教育)

O-18 終末期にある在宅療養者と家族の支援における看護師・介護士・介護支援専門員の連携と課題：3職種へのインタビュー調査

○小野 若菜子、森田 誠子、竹森 志穂

聖路加国際大学大学院 看護学研究科

O-19 実践での事前指示書活用のための専門職教育セミナーの効果

○廣川 直美¹⁾、朝倉 ストレンペック 由紀²⁾、島内 節³⁾、内田 恵美子³⁾、落合 尚子³⁾

¹⁾日本在宅ケア教育研究所、

²⁾Centura Health Parker Adventist Hospital/Penrose-St. Francis Health Services、

³⁾日本在宅ケア教育研究センター

O-20 ケアゴールに基づいたエンドオブライフ・ケアを行えるための教育

○朝倉 ストレンペック 由紀¹⁾、島内 節²⁾、廣川 直美³⁾、内田 恵美子²⁾、落合 尚子²⁾

¹⁾Centura Health - Parker Adventist Hospital/Penrose-St. Francis Health Services、

²⁾一般社団法人 日本在宅ケア教育研究センター、

³⁾株式会社日本在宅ケア教育研究所・一般社団法人 日本在宅ケア教育研究センター

口演(市民活動・啓発)

O-21 全国自治体における人生会議(ACP)の活動実態の研究

ー生命保険会社を含むストレンクス視点に基づく社会への期待ー

○樋口 由起子^{1,2)}、加藤 大策¹⁾

¹⁾株式会社明治安田総合研究所、²⁾弘前大学大学院 医学研究科

口演(その他)

O-22 看護師からみた病院看護部における集合倫理教育の課題

○鶴若 麻理

聖路加国際大学 生命倫理学・看護倫理学

示説(基本概念)

P-1 心不全患者に対する看護師のアドバンス・ケア・プランニングの支援行動と影響要因の明確化

○梅田 尚子¹⁾、長谷川 智子²⁾、牧野 富美枝³⁾、橋本 容子⁴⁾

¹⁾ 福井医療大学保健医療学部 看護学科、²⁾ 福井大学学術研究院 医学系部門 看護学領域、

³⁾ JCHO福井勝山総合病院、⁴⁾ 東京医科大学医学部 看護学科

P-2 後期高齢者が自宅での生活を継続するための意思決定の様相 ー老いと向き合いながら暮らすA氏の事例からー

○中村 円¹⁾、長江 弘子²⁾

¹⁾ 札幌医科大学保健医療学部 看護学科、²⁾ 亀田医療大学 看護学部

P-3 介護保険施設入所者の入退院支援プロセスにおける本人の意向をつなぐかわり

○西川 裕理¹⁾、坂井 志麻¹⁾、大西 知子¹⁾、岩崎 孝子¹⁾、長江 弘子²⁾、高井 ゆかり³⁾、石橋 みゆき⁴⁾

¹⁾ 杏林大学保健学部 看護学科、²⁾ 亀田医療大学 看護学部、³⁾ 群馬県立県民健康科学大学 看護学部、

⁴⁾ 千葉大学大学院 看護学研究院

P-4 介護老人福祉施設における高齢者の最期の意思を実現するためのAdvance Care Planning (ACP)

○鈴木 みずえ、内藤 智義、稲垣 圭吾、金盛 琢也

浜松医科大学 臨床看護学講座

示説(緩和ケア)

P-5 栄養指導が生み出した家族の介護疲弊感へのケアや介入

○海渡 翔¹⁾、服部 美喜子²⁾、吉岡 小百合¹⁾、青木 和美³⁾、阿部 昌子⁴⁾、井上 翔太⁵⁾

¹⁾ 小日向診療所、²⁾ TKG会小日向台町歯科 認定栄養ケアステーション、

³⁾ JCHO東京新宿メディカルセンター付属 訪問看護ステーションなないろ、

⁴⁾ ファーコス薬局 新宿 居宅介護支援事業所、⁵⁾ ケアリッツ江戸川橋

P-6 療養の場所を超えて多職種で用いる末期認知症の苦痛評価プロトコルの作成

○平原 佐斗司¹⁾、鈴木 みずえ²⁾、金盛 琢也²⁾、高井 ゆかり³⁾、戸谷 幸佳³⁾、竹内 伸⁴⁾、森山 寿伸⁵⁾

¹⁾ 東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック、²⁾ 浜松医科大学医学部 看護学科、

³⁾ 群馬県立県民健康科学大学看護学部 看護学科、⁴⁾ 聖隷三方原病院 看護部、

⁵⁾ 浜松医科大学医学部 看護学科大学院修士課程

P-7 末期認知症の苦痛評価プロトコルのフィージビリティ調査

○平原 佐斗司¹⁾、鈴木 みずえ²⁾、金盛 琢也²⁾、高井 ゆかり³⁾、戸谷 幸佳³⁾、竹内 伸⁴⁾、森山 寿伸⁵⁾

¹⁾ 東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック、²⁾ 浜松医科大学医学部 看護学科、

³⁾ 群馬県立県民健康科学大学看護学部 看護学科、⁴⁾ 聖隷三方原病院 看護部、

⁵⁾ 浜松医科大学医学部 看護学科大学院修士課程

P-8 創作活動(アロハ会)を通して存在意義を見出し、自宅で最期を迎えたいと表明できた事例から学んだこと

○鈴木 美穂¹⁾、千葉 恵子^{1,2)}

¹⁾医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 看護部、²⁾学校法人鉄蕉館 亀田医療大学看護学部 看護学科

**P-9 訪問看護でスピリチュアルペインのある患者のケアの実際
～スピリチュアルケアの手引きをもとに～**

○小暮 和歌子、真崎 想子、国京 真理子、吉田 千春

ふれあい訪問看護ステーション

示説(リハビリテーション)

**P-10 がん患者の最期の思いに寄り添う多職種連携
～その人らしさを取り戻した院内ミニコンサート開催～**

○細川 直美¹⁾、五十嵐 幸江¹⁾、中山 拓弥²⁾、土谷 美耶子²⁾、池田 奈緒²⁾

¹⁾国際医療福祉大学熱海病院 看護部、²⁾国際医療福祉大学熱海病院 リハビリテーション部

示説(病態別ケア)

P-11 体感が転機となった末期高齢心不全患者の療養支援

○吉廻 みゆき¹⁾、伊藤 真理²⁾

¹⁾川崎医科大学総合医療センター 看護部、²⁾川崎医療福祉大学保健看護学部 保健看護学科

P-12 TAFRO症候群の症状緩和 3事例の検討

○赤司 雅子

武蔵野赤十字病院 緩和ケア内科

P-13 透析患者におけるアドバンスケアプランニングの認識調査

○藤田 菊恵、神岡 秀美、竹村 史子、下村 汐里、佐野 志津香、村井 佑衣、平野 典子、西條 公勝

西條クリニック鷹番 透析室

P-14 訪問看護師が最も遭遇するBPSDの発生場面と対応方法

○大河原 美幸¹⁾、内田 陽子²⁾、伊東 美緒²⁾

¹⁾複合型サービスじゃんけんぼん観音寺、²⁾群馬大学大学院 保健学研究科

P-15 在宅高齢者に対する電子版包括的BPSDケアシステム導入後のBPSDの変化と悪化要因

○小川 千夏¹⁾、内田 陽子²⁾、田島 玲子³⁾、品田 咲紀¹⁾、白沢 理奈⁴⁾、堀内 康弘³⁾、新井 剛³⁾、吉川 健³⁾、瀧澤 清美⁵⁾

¹⁾群馬大学医学部附属病院、²⁾群馬大学、³⁾有限会社相模テクノ、⁴⁾富岡保健福祉事務所、⁵⁾NPO法人NADI

P-16 看護場面に必要とされる認知症メディカルユニバーサルデザインポスターの試案

○崎山 恵里那¹⁾、内田 陽子²⁾、青木 琴実¹⁾、花田 向日葵¹⁾、横坂 汐音¹⁾、梨木 恵実子²⁾

¹⁾群馬大学医学部保健学科 看護学専攻、²⁾群馬大学大学院 保健学研究科

P-17 東海AYA支援 FAMILY PHOTOGRAPH活動報告

～写真の力でがん患者・家族を支援する活動～

○瀧田 咲枝¹⁾、大西 真人²⁾、武田 智美¹⁾、福田 由紀子¹⁾、岡本 優子¹⁾、又吉 忍¹⁾、杉浦 美佐子¹⁾

¹⁾ 椋山女学園大学 看護学部、²⁾ 東海AYA支援 FAMILY PHOTOGRAPH

P-18 BPSDを軽減した訪問看護師の対応方法

○内田 陽子¹⁾、大河原 美幸²⁾、崎山 恵里那¹⁾

¹⁾ 群馬大学、²⁾ 複合型サービスじゃんけんぼん観音寺

示説(対象別ケア)

P-19 新型コロナウイルス感染拡大状況下での、施設入所中の利用者と家族の関わり

○山田 案美加、足立 智孝

亀田医療大学看護学部 看護学科

P-20 家に居たいという寝たきり高齢者の希望を叶えた7年間の在宅介護の事例研究

○高井 ゆかり¹⁾、上山 真美¹⁾、深堀 浩樹²⁾

¹⁾ 群馬県立県民健康科学大学 看護学部、²⁾ 慶應義塾大学 看護医療学部

P-21 独居高齢者に対する服薬を忘れないようにするための一案

○横坂 汐音¹⁾、内田 陽子²⁾

¹⁾ 群馬大学医学部 保健学科、²⁾ 群馬大学大学院 保健学研究科

P-22 重症心身障がい者の看取りに関する文献検討

○常国 良美

川崎医療短期大学 医療介護福祉学科

示説(家族ケア)

P-23 終末期せん妄を来したがん患者を支える家族の予期悲嘆へのケア

○小川 雅子¹⁾、国安 みゆき¹⁾、打矢 和子²⁾、川原 明子³⁾

¹⁾ 秋田厚生医療センター 看護部、²⁾ 由利組合総合病院 看護部、³⁾ 秋田赤十字病院 看護部

**P-24 遺族が参加した多職種チームによる地域看取りケアの振り返りの場づくりとその意味
—看護師が語った2つの事例から—**

○岡田 麻里¹⁾、片山 陽子¹⁾、小出 恵子²⁾、尾形 由起子³⁾

¹⁾ 香川県立保健医療大学、²⁾ 大阪大学大学院、³⁾ 福岡県立大学

示説(諸相・場と移行期のケア)

- P-25** 小規模事業所に所属する訪問看護師の退職意向と職場継続意志の構成要素
○瀧本 真実¹⁾、片山 陽子²⁾、岡田 麻里²⁾
¹⁾訪問看護ステーション菜の花、²⁾香川県立保健医療大学
- P-26** 特別養護老人ホームに勤務する看護師が抱く困難感
○大西 知子、坂井 志麻
杏林大学保健学部 看護学科 看護学専攻 高齢者看護学研究室
- P-27** 病院と有料老人ホームとの緩和ケア連携
○舩木 康二郎¹⁾、島 佳子²⁾、金丸 修子²⁾
¹⁾富山市立富山市民病院 緩和ケア内科、²⁾富山市立富山市民病院 看護部
- P-28** 積極的治療を受けたがん患者と家族の在宅緩和ケアへの移行支援に対する思い
ー遺族の語りから
○奥山 亜由子
札幌医科大学附属病院 医療連携福祉センター
- P-29** 病棟看護師による終末期がん患者の在宅療養移行に向けての支援内容に関する文献検討
○谷垣 静子¹⁾、中村 智香²⁾
¹⁾岡山大学大学院 保健学研究科、²⁾岡山大学病院
- P-30** 看護小規模多機能で働く介護スタッフの看取りに対する不安の軽減
○西山 由紀美
社会医療法人社団更生会 村上記念病院 複合型サービス事業所仲まち
- P-31** 終末期ケアにおける高齢者施設と医師・医療機関との連携に関する文献検討
○谷口 佳奈恵、鈴木 典子、田中 克恵、舞谷 邦代
金城大学看護学部 看護学科
- P-32** 看護師の暗黙知による予後予測に関する文献レビュー
○小林 由里¹⁾、小笠原 知枝²⁾
¹⁾奈良学園大学保健医療学部 看護学科、²⁾兵庫大学大学院 看護学研究科
- P-33** 視覚障がい者(ロービジョン者)の夫介護者が妻の在宅看取りを実現できるよう支援した訪問看護症例
○森 亜紀、足羽 孝子、竹内 未央
川崎医科大学総合医療センター 訪問看護ステーションかわさき
- P-34** 介護支援専門員の在宅看取り連携の困難と課題に関する文献レビュー
ー2006年から2021年に焦点をあててー
○江波戸 ゆかり
国際医療福祉大学医療福祉学研究科 博士課程

P-35 余命3カ月から余命6年へ ～経口摂取の継続に試行錯誤を繰り返した症例～

○守屋 直和¹⁾、福田 亮子²⁾

¹⁾医療法人光緑会 グループホーム ラビットホーム、²⁾医療法人光緑会 やわたクリニック

示説(専門職教育)

P-36 終末期がん患者家族のエンドオブライフ期に焦点を当てた映像教育への取り組み

○瀧田 咲枝¹⁾、柗窪 優二²⁾、武田 智美¹⁾、福田 由紀子¹⁾、岡本 優子¹⁾、又吉 忍¹⁾、杉浦 美佐子¹⁾

¹⁾相山女学園大学 看護学部、²⁾相山女学園大学文化情報学部 メディア情報学科

P-37 エンドオブライフ期にある透析患者に関わる新人看護師への支援に関する実践報告

○鈴木 玲子、足立 智孝

亀田医療大学看護学部 看護学科

P-38 継続看護マネジメントの事例展開方法を活用した新人訪問看護師の学習支援

○小池 愛弓

武蔵野徳洲会訪問看護ステーション

P-39 心不全のエンドオブライフケアを提供する看護師に必要な教育に関する文献検討

○吉田 有美子

東京女子医科大学病院 看護部

P-40 看護師の倫理観を育成するための支援

－姉を亡くしCOVID-19に罹患した認知症患者の事例を通して－

○北木 弥生

済生会広島病院

P-41 危険なサインを見逃さないための在宅療養者へのグラスゴー・コーマ・スケールの学習会の報告 －訪問看護師による在宅療養者の評価から－

○岡本 優子、武田 智美、瀧田 咲枝、又吉 忍、福田 由紀子

相山女学園大学 看護学部

P-42 重度リンパ浮腫を持ちながら暮らしているA氏に対する看護師の外来相談支援

○千葉 恵子

亀田医療大学看護学部 看護学科

P-43 ケアの継続性に焦点を当てた事例検討の意義

－地域包括支援センターが介入したA氏の事例を通して－

○林 愛¹⁾、長江 弘子²⁾

¹⁾医療法人実幸会 武蔵国分寺公園クリニック、

²⁾亀田医療大学看護学部/看護学研究科 高齢者看護学・エンドオブライフケア学

示説(市民活動・啓発)

P-44 家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修プログラムの評価(第1報)

○山岸 直子¹⁾、山口 乃生子¹⁾、會田 みゆき¹⁾、島田 千穂²⁾、畔上 光代¹⁾、河村 ちひろ¹⁾、
星野 純子¹⁾、浅川 泰宏¹⁾、佐瀬 恵理子^{1,3,4)}

¹⁾ 埼玉県立大学 保健医療福祉学部、²⁾ 佐久大学 人間福祉学部、³⁾ 東京大学大学院 医学系研究科、
⁴⁾ ジョージタウン大学 ケネディ生命倫理研究所

P-45 介護支援専門員のエンドオブライフケアマネジメント実践

○島田 千穂¹⁾、多賀 努²⁾、松家 まゆみ³⁾、木田 正吾⁴⁾

¹⁾ 佐久大学 人間福祉学部、²⁾ 東京都健康長寿医療センター研究所、³⁾ 越谷市医療と介護の連携窓口、
⁴⁾ NPO法人むすび

P-46 地域で行われているAdvance Care Planningと評価に関するスコーピングレビュー： 中間報告

○山縣 千尋¹⁾、長江 弘子²⁾、岩崎 孝子³⁾、片山 陽子⁴⁾、原沢 のぞみ⁵⁾、高 紋子⁶⁾、
岡田 麻里⁴⁾、渡邊 賢治⁷⁾、那須 真弓⁸⁾

¹⁾ 東京慈恵会医科大学医学部 看護学科、²⁾ 亀田医療大学 看護学部/看護学研究科、
³⁾ 杏林大学保健学部 看護学科、⁴⁾ 香川県立保健医療大学 保健医療学部、⁵⁾ 東邦大学 看護学部、
⁶⁾ 昭和大学保健医療学部 看護学科、⁷⁾ 自治医科大学 看護学部、⁸⁾ 茨城県立医療大学保健医療学部 看護学科